



傷病者の発生

処置/対応

判断

周囲の観察
全身の観察

反応(意識)の確認

あり

くわしい観察

必要ならば医師の診察を受けさせる

なし

※1 協力者がいない場合は、救助者が119番通報し
すぐ近くにあればAEDを準備する

協力者を求める※1

119番通報とAEDの依頼
通信指令員の指示に従う

呼吸の確認

あり

気道確保、回復体位にして観察を続ける

なし※2

※2 死線期呼吸または判断に自信が持てないときは胸骨圧迫を開始する

直ちに胸骨圧迫30回※3

※3 強く(約5cm、小児は胸の厚さが約1/3)
速く(100~120回/分)
絶え間なく(中断を最小限に)

気道確保・人工呼吸2回※4

※4 人工呼吸の技術と意思があれば行うが、
できない状況では胸骨圧迫のみを行う

胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返す

AED装着

心電図解析

必要あり

電気ショック1回

必要なし

直ちに胸骨圧迫から再開し
胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返す

救急隊に引き継ぐまで、または普段どおりの呼吸や目的のある仕草が認められるまで続ける

AEDの到着

救急隊に引き継ぐ